



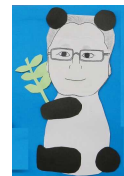
宮田中だより 2019年 9月号

横浜市立宮田中学校 電話045-331-5288

「試合は終わるまでわからない」

～ スポーツからの学びは大きい ～

校長 上原 浩



準々決勝、横浜対相模原。今年の夏、4年ぶりに高校野球の県大会を観戦しました。横浜高校は全国的に知られた私学の強豪。相模原高校は私の住んでいる地元相模原では県相（“けんそう”）と呼称される普通科の県立高校です。ご存知のように、神奈川県硬式野球は、かつては「横浜を制するものは全国を制す」と言われ、私学の強豪校が多く、公立高校が甲子園に行くことは希になっています（夏は1990年、横浜市立横浜商業“Y校”が出場）。そんな中、県相は2014年春ベスト16、夏ベスト8（この時、横浜に敗退）、秋ベスト4、そして2015年春には準優勝を飾り、夏の大会には第1シードで臨みました。そして、その大会の4回戦、ノーシードから勝ち上がってきた横浜と対戦しました。実は、この時の県相主力選手の一人が、私が昔勤務していた中学の卒業生だったので、その試合の応援に行っていました。会場は地元相模原球場。4回戦にも関わらず外野も満席で、異常な盛り上がりでした。試合は横浜の好投手藤平選手（現楽天）をうまく攻略できず、0対3で惜敗。試合後、教え子を含む県相チームが無念の涙を流していた姿は忘れられません。その後、横浜は決勝で小笠原投手（現中日）擁する東海大相模に敗れ、東海大相模は甲子園で全国制覇をしています。

それから4年。またもや県相と横浜が夏の大会で対戦することになりました。今回は4年前とは逆で、横浜が第1シードで県相がノーシード。もちろん教え子は既に卒業しています。家族からは「お父さんと県相は何も関係ないでしょ」と言われながらも「私学を制して甲子園に行く」という強い信念で、決して恵まれているわけではない環境の中で厳しい練習をしているチームが、因縁の横浜との対決。休みを取って横浜スタジアムに出かけました。

今年の横浜高校は、「高校ビッグ4」と称される及川投手を擁する優勝候補。初回、先攻の横浜は瞬く間に先制。3回、5回にも追加点をあげ、7回表終了時には5対0と県相を圧倒していました。「夏に照準を合わせてくる強豪私立はさすがに強い」と思っていた7回裏、県相が怒濤の反撃を開始し、3点挙げたところで、エースの及川投手の登板。「ついに出てきたか、プロ注目の投手からは簡単には打てないのでは？」と思った矢先、強打で2点追加。遂に、同点に追いつきました。しかし、8回表、すかさず及川選手自身の長打をきっかけに横浜が1点追加。（本当に申し訳ない話だが）「さすがは横浜、県相もよくやったが」と思っていました。ところがその裏、県相が追撃。及川投手を打ち込み（控え選手が綿密にデータ分析をしていたとのこと）3点追加。9回表を守り抜き、8対6で県相の勝利。球場全体が歓声とざわめきに包まれました。早速、ネット上では、公立高校が甲子園での活躍も期待された横浜高校を倒したことを「シャイントキリングだ！」と書き立てていました。

ただ、当然のことですが、私立、公立に関係なく、どこのチームもどの選手も等しく目標に向かい全力で努力しています。過去に大きな実績のあるチームは、「常勝軍団」や「強豪」と呼ばれ、我々は勝手に「シャイント」と呼び、過大なプレッシャーを背負わせているのでしょうか。手前勝手な「判官贔屓」で試合を観戦していたことを反省しながら、これまでやってきたことと勝利を信じ、「最後まであきらめない」姿勢を実践してくれた両チームの選手に、心から拍手を贈りました。また、そのような舞台上で闘うためには、スタッフや応援している多くの人の支えがあったこと。これが「チーム一丸」なのかとも教えてもらった気がします。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	E
横 浜	2	0	2	0	0	1	0	6	12	0	
相 模 原	0	0	0	0	0	5	3	X	8	12	0

この夏、宮田の運動部の子どもたちも「最後まであきらめない」姿勢で全力で大会に臨みました。これまでの学びは、必ず、これから先の長い人生の糧となることと確信しています。

保護者、地域の皆様、2学期は「文化祭・創立70周年記念式典」という大きな行事があります。スポーツと同じように、子どもたちが真剣に合唱等に取り組む姿はかけがえのないものです。引き続きご支援・ご協力ををよろしくお願い申し上げます。

「2019夏、部活動報告」



○陸上競技部

- ・県通信陸上競技選手権大会 1年100m：永井真心 1位〈関東大会出場〉
1年走幅跳：渡部瑞己 出場
1年走幅跳：石川由唯 出場
- ・関東中学校陸上競技大会 1年100m：永井真心 出場

○男子ソフトテニス部：市総体団体戦出場、市民大会団体戦2回戦進出

○女子ソフトテニス部：市総体団体戦出場、市民大会団体戦出場

○男子バスケットボール部：市総体2回戦進出

○女子バスケットボール部：市総体2回戦進出

○野球部：市総体出場、新人戦グループリーグ出場

○バドミントン部 区大会 ダブルス3位：櫻田獅子丸・秋山靖貴
シングルス3位：菅原知乃

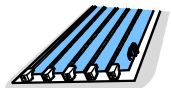
○バレーボール部：市総体出場

○サッカー部：市総体3回戦進出

神奈川県夏季強化講習会優秀選手：高城泰史・岸 琢人

○水泳部：県大会出場

- ・200mバタフライ：樋口 凜 100mバタフライ：齋藤なつ
- ・50m自由形：松浦桜志 100m背泳ぎ：喜多井智也
- ・400mフリーリレー：樋口 凜・中澤琴子・吉田夢舞・小國花歌・齋藤なつ
- ・400mメドレーリレー：樋口 凜・中澤琴子・吉田夢舞・小國花歌・齋藤なつ



○シンガーソングライター部：市国際スピーチコンテスト アトラクション部門出演
シルクロード納涼祭ライブ出演（橘樹神社）

○吹奏楽部：シルクロード納涼祭ライブ出演（橘樹神社）

○美術部：「文化祭に向け、個人製作をがんばっています。」

『合唱コンクール』ご案内 ～今年度も会場は「保土ヶ谷公会堂」～

子どもたちが、夏休み前から準備に取りかかり、楽しみにしている宮田の良き伝統「合唱コンクール」は、昨年度と同様「保土ヶ谷公会堂」で10月16日（水）に行われます。保護者の皆様にはあらためて別紙でお知らせしますが、会場の都合上、一家庭あたり2名程度しかご覧になることができません。また、昨年度は学年ごとの入れ替えを、皆様の協力で円滑に行うことができました。引き続き、ご理解・ご協力をお願いいたします。なお、文化祭の展示は、校内で10/4（金）～15（火）に行う予定です。



9月のおもな予定

- 9/2(月)総合防災訓練（引き取り訓練無し）
- 11(水)2学期定期試験（理・英・音）
- 12(木) // （国・数・技家）
- 13(金) // （社・保体・1・2年美/3年学）
- 19(木)2年進路説明会
- 20(金)Fマリ/食育授業(1年)



10月のおもな予定

- 10/4(水)3年英検 授業参観/懇談会
文化祭展示部門開始（～15）
- 16(水)文化祭合唱・ステージ（保土ヶ谷公会堂）
- 17(木)創立70周年記念式典（体育館）
小中交流日(午後)
- 18(金)3年「10月成績」配布
- 28(月)～31(木)3年個別面談



☆休み明け、九州から豪雨被害が報じられました。災害を「自分ごと」として捉え、いざという時に「自助・共助・公助」できる姿勢は大切です。今年度の宮田中学校区の「地域防災拠点訓練」は10/20（日）に宮田中と帷子小、11/10（日）に峯小で行われます。どうすれば子どもたちが進んで参加する気持ちを育てることができるのか？今後の課題の一つです。